

郡山市議会 志翔会 議会報告 平成29年6月定例会特集

創風会から志翔会へ会派名を変更しました



後列左から 馬場 大造、佐藤 栄作、大木 進、川前 光徳、久野 三男、諸越 裕、佐藤 徹哉、山口 信雄、森合 秀行
前列左から 塩田 義智、近内 利男、高橋 隆夫、佐藤 政喜、鈴木 祐治、大内 嘉明、七海喜久雄、大城 宏之

会長あいさつ



佐藤 政喜

6月定例会も終了し、4月に執行された郡山市長選挙で再選された品川市長におかれては、本格的に2期目の市政運営をスタートされました。1期目の市政運営を総括され、しっかりと課題を整理して2期目の市政運営に取り組まれていくものとご期待を申し上げます。

我が会派も、市長選挙や会派のあり方等の総括の中で、議員任期一期4年の前半2年の任期途中ではありますが、会派役員一新という結論に到り、私が会長を仰せつかりました。最大会派の会長として決意を持って努めてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

また14年の歳月にわたって、市民の負託に応え、親しまれてきた創風会でありましたが、より一層の市民目線で郡山市の発展と市民福祉の向上のため、しっかりと志

を持ち、全力で翔ようと、会派名を「志翔会」といたしました。

市民を幅広く代表する市議会の最大会派として、「議会は住民自治の根幹をなす機関である」との原則を再認識し、市民に説明の出来る政策集団として、会派議員の更なる資質向上を図るとともに、審議の透明性を高め、議会と市民の意志疎通を促進し、執行機関の「監視機関」としての機能を十分に発揮させて行くことが、極めて重要であると考えます。今後とも市民の皆様のご意見を賜り、東日本大震災や原子力災害からの完全復興、また福島県の「リーディングシティ」として、住んで良かった、住んでみたいと言われる「郡山」を目指してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

平成29年6月定例会

代表質問 要旨

志翔会会長 佐藤 政喜

2期目は「スモールスタート」?

問 市長は、就任記者会見において、「スモールスタート」を掲げ、「小さい、出来る事から始めよう、様々な大きな課題も着実に実現していく。」と言った。1期目の準備が花開く2期目のスローガンとしては物足りなく感じるが、4年間でスモールスタートをどの様に成果につなげていくのか。

答 あらゆる物事は小さなことの積み重ねであり、小さなことを積んで大きな事を成し遂げる「積小為大」の理念のもと、確実に対応しなければならない課題から取り組む「スモールスタート」の手法で、必需性、必要性、緊急性、波及効果の高い施策からその実現、進捗に務め、本市の大きな課題解決に取り組んでいく。

郡山市のGAP認証は?

問 「スモールスタート」とは言えスピード感を持ってやっていかなければならない施策が多数あるが、その1つが農業生産工程管理、いわゆるGAPの認証取得である。2020東京オリンピック・パラリンピックでは、食材提供の際この第三者認証の取

得を求めており、福島県等も「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を発表した。本市では、GAP認証取得の数値目標を掲げるのか。また、JAとの連携をどのように考えているのか。

答 福島県は、本年度から取得や更新に必要な経費を助成しており、本市としても根強い風評を払拭しさらなる品質向上や経営改善による輸出拡大、人材育成など、競争力強化に極めて重要だと捉えている。数値目標については今後、福島県、JA等と協議し進捗に応じて検討していく。また、JAとの連携については、県中農林事務所とJA福島さくらの担当者との会議を開催し、今後におけるGAP推進に向けて情報共有を図ると共に、関係機関が連携協力して具体的な取り組みを進めていくことを確認した。

委員会提案の県内初となる自殺対策基本条例・6月補正予算を可決

平成29年6月定例会が閉会し、条例では委員会提案による県内初の自殺対策基本条例・平成29年6月補正予算をはじめ、全ての提案議案を可決いたしました。

このうち6月補正予算については、骨格予算となった当初予算に新規事業等の肉付けを行うとともに、関係機関との調整により進捗が図られた事業などに係る経費や新たな行政課題、市民生活への需要に対応する経費が計上され、一般会計で23億4,770万2千円の増額、特別会計で4億2,038万1千円の減額、総額で19億2,732万1千円の増額となりました。

主な事業としては、従来の防災行政無線に替わる携帯電話網を活用した情報伝達システムの再構築など防災情報伝達体制の強化

(7億1,754万円)、除去土壌搬出のための新たな積込場(県中浄化センター、郡山カルチャーパーク、河内クリーンセンター、横塚地内民有地)の整備(3億7,221万円)、カーブミラー設置工事、カラー舗装等の通学路安全対策工事、市営住宅の住環境整備等交付金を活用した安全・安心なまちづくりの拡充(3億885万円)、平成4年11月に開館した美術館の空調設備の更新、企画・常設展示室の天井改修や照明のLED化等といった美術館の利用環境の整備・充実(2億464万円)、開成山陸上競技場の改修(1億1,550万円)、交付金を活用した市道大町大槻線事業(1億8,051万円)、市内3カ所の老人福祉施設等の新設を支援(1億8,973万円)等となっています。

議会特別委員会活動報告

平成27年12月定例会において設置した、「安全・安心なまちづくり特別委員会」と「公有資産活用検討特別委員会」を6月28日の6月定例会閉会日をもって廃止となりました。

また、「安全・安心なまちづくり特別委員会」では、32回にわたって委員会を開催し、市民の安全・安心を確保するための施策について調査研究を行い、その過程において、平成28年9月には、品川市長に対し総合的な自殺対策を推進するために、今後取り組むべき事項をまとめた「誰も自殺に追い込まれることのないまちづくりに向けた提言書」を提出し、また、本定例会最終日には、県内初となる「郡山市自殺対策基本条例」を提案し、可決しました。なお、本年9月10日から施行の予定です。

「公有資産活用検討特別委員会」では、33回にわたって委員会を開催し、公有資産の有効活用について調査研究を行い、その過程において、公有資産の有効活用に関する市民アンケートを実施し、アンケート結果をふまえた委員会での協議を進め、提言をとりまとめ本定例会最終日に品川市長に対して「公有資産の有効活用に向けた提言書」を提出しました。

【志翔会所属の安全・安心なまちづくり特別委員会委員】

委員長：近内利男 委員：佐藤栄作、佐藤徹哉、久野三男

【志翔会所属の公有資産活用検討特別委員会委員】

委員長：大城宏之 委員：山口信雄、大木 進、川前光徳



コラム
column

開成山陸上競技場と総合体育館の改修について

開成山陸上競技場が第3種公認競技場認定更新の時期を迎えています。本競技場は、立地環境の良さから市内小・中学生、高校生の利用者数において県内随一であり、平日の利用者はとても多い状況です。休日には市外の競技者や、福島陸上競技協会の強化練習会等の利用もあり、特に混み合います。このため全天候舗装部分については摩耗が激しく、実際には更新期間の5年はとてももちません。対策としては、補助競技場の走路部分を全天候舗装に改修し、利用を分散化することが考えられます。これにより、第2種公認競技場へ格上げされる可能性も高まり、より大きな大会の誘致にも繋がります。県内随一の立地条件を誇る本競技場を活かすためにも、補助競技場の全天候走路へ改修を進めてはいかがでしょうか。

総合体育館西側スペースの改修については、整備内容によると約70台の駐車場として拡充することです。確かに、大会等で大型バスが内環状線に路上駐車して渋滞の原因となっている現状において、大型バスの入れないロータリーは改修する必要があります。また、障がい者用の駐車スペースや劣化したインターロッキングの改

修は早急に行わなければなりません。しかしながら、この西側スペースは、当市における屋内スポーツの殿堂的な建物のエントランスに繋がる導線として、また、開成山公園の景観に配慮した雰囲気のあるスペースといった視点も考慮されるべきではないでしょうか。



6月定例会市政一般質問

要旨

FCV(燃料電池自動車)の普及対策について

問 本市では、水素ステーションの設置に合わせて公用車としてホンダのFCVを導入したが、今後市民へのFCVの普及を進めていくためにも、試乗会を含め、積極的な普及対策を実施すべきと考えるが、見解は。



森合 秀行

答 今後は、燃料電池自動車を活用した出前講座や各種イベント展示に加え、試乗会を実施するなど多くの方々に触れて頂く場を設けるとともに、産総研福島再生可能エネルギー研究所及びFCV関連事業者等と連携を図りながら、積極的に普及啓発活動に取り組んでいく。



カルチャーパーク周辺の歩道の管理について

問 カルチャーパーク周辺の歩道には背丈の高い雑草が多く生えていることにより通行の妨げとなって、特に多くの観客でごった返すあさか野夏まつり花火大会の際には非常に危険であると感じる。安全に配慮した歩道の管理を行うべきと考えるが、見解は。

答 カルチャーパーク周辺において歩道を有する路線は、県が管理するカルチャーパーク南側の「南インター線」、市が管理している「コスモス通り」「西畑東丸山線」の3路線であり、県道については6月29日に開催の「まちづくり意見交換会」等を通じて、県に適切な時期に除草を実施するよう要望する。市道については、毎年8月下旬と11月下旬に除草を実施しているが、8月14日に行われる「あさか野夏まつり花火大会」に合わせた作業が可能であることから、実施時期を調整して対応する。

郡山富田駅周辺整備について

問 郡山富田駅の開業を受け、改めて周辺整備を早急に進めるべきと考えるが、駐車場などの整備検討の状況は。また、(仮称)メディカルヒルズ郡山基本構想の進捗状況は。



佐藤 栄作

答 駐車場の整備については、(仮称)メディカルヒルズ郡山基本構想の進捗状況や、パ-

クアンドライド実証実験の結果について、郡山富田駅利活用懇談会等で、意見をいただきながら、多角的に検討していく。(仮称)メディカルヒルズ郡山基本構想の進捗状況については、福島県と密に連携を図りながら、全体的なあり方や今後の進め方などについて検討しているところである。



デマンド交通の実用化について

問 デマンド交通等実証実験が行われ、実験結果や意見等を踏まえると、今後デマンド交通に対しての需要が高まりつつあると感じるが、実用化に向けた取り組みがなされるのか、見解は。

答 昨年度実施したデマンド交通の実証実験では、自宅近くからの乗車における利便性や分かりやすい料金体系が好評であった一方、費用対効果の面で大きな課題もあった。このことから、地域にあった持続可能な公共交通体系の確立には、運営や費用負担を含めた、地域の主体的な関わりなど、多角的な視点での検討が必要であるため、それぞれの地域特性に合わせた、多種多様な交通体系の導入を、再編実施計画の中で検討し、過度に自家用車に頼る社会からの転換を図るためのモビリティマネジメントにより、公共交通機関の更なる利用促進を図っていく。

音楽専用ホールについて

問 2期目をスタートした品川市長の4年前のマニフェスト(選挙公約)の項目で「一流の音楽ホールを全国から来場しやすい場所に設置します」と市民に約束した音楽専用ホールの実現は、今回の「文化振興とスポーツ環境の充実」のマニフェストの中に含まれているのか。また、音楽堂建設整備基金に積み増しの必要性和音楽堂建設検討委員会を立ち上げて新たな環境の下での音楽堂のあり方を検討すべきと考えるが見解は。



近内 利男

答 昨年度は、本市の既存施設の利用実績や民間施設の整備状況等の調査、市民ニーズ把握のためのアンケートを実施し、現在その分析を行っている所であり、音楽専用ホールのあり方については、今後も継続して検討していく。「整備基金の積み増し」及び「音楽堂建設検討委員会の立ち上げ」については、方向性が定まった時点で改めて検討する。

公共施設の受動喫煙対策について

問 郡山市職員安全衛生委員会は、「市公共施設は原則敷地内禁煙とし、職員及び市

民に対する周知などの準備期間の後、速やかに進めること」と本年3月に品川市長に提言しているが、提言からすでに3か月以上経過している。いつまでに指針の策定を行う考えなのか、見解は。

答 郡山市職員安全衛生委員会の提言を踏まえ、各公共施設管理者から施設の現状や課題の確認を行うとともに、市民の皆様のご意見も頂きながら受動喫煙防止対策に関する指針を策定し、速やかに対策に取り組んでいく。



浸水被害対策(古川ポンプ場増設等)について

問 古川ポンプ場は、平成23年の水害時の教訓をもとに今回の増設工事で5台になったが、古川ポンプ場の能力と増設したことによる効果は。



久野 三男

答 古川ポンプ場の排水能力は1分間の排水量が、5台で1,360 m³に増強され、容量が約300 m³の小学校プールに換算すると1分間に最大で4.5杯分、排水能力を1.6倍にしたものである。これにより、阿武隈川上流域の降雨で河川水位が上昇し、自然流下による阿武隈川への排水が困難な場合において、排水区域全体の浸水被害が軽減されるものと考えている。

郡山駅東西自由通路(東口)の非常用通報装置の設置について

問 郡山駅東西自由通路の非常用通報装置は、設置間隔が長いところでは54.9mもあり、離れているように思える。また、それぞれの非常用通報装置の間にインターホンなどがあると緊急連絡がとれると考えるが見解は。

答 郡山駅東西自由通路の非常用通報装置は、平成27年度に6箇所、昨年度の東口整備に合わせて1箇所、計7箇所設置したところであるが、設置間隔については郡山警察署と協議していく。また東西自由通路には監視カメラが6台設置され、駅前交番に24時間映像を提供していることや、年間を通して定期的に監視員が巡視を行うなどの監視体制があるが、インターホンの設置等についても郡山警察署と協議していく。



(会派名変更に伴う) 今後の抱負



鈴木 祐治
すずき ゆうじ

会派は、いち早く梅雨明けしました。会派名を変更し、新たな表紙、新たな内容で、会派一同、最大の市民サービスを求め、邁進して参ります。

- 当選5回
- 郡山市議会副議長
- 所属/建設水道常任委員会
- 連絡先/〒963-1154
田村町岩作字小人町99番地
TEL.024-955-2172



佐藤 政喜
さとう まさき

「志翔会」の名前が表す通り、より一層の市民目線に立ち、皆様に信頼される会派として会派議員一同頑張っ参ります。どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

- 当選3回
- 志翔会会長
- 所属/文教福祉常任委員会
議会運営委員会委員長
- 連絡先/〒963-0201
大槻町字中ノ平55番地
TEL.024-951-2316



諸越 裕
もろこし ひろし

「諸行無常」いい事があれば悪い事もある。それが世の中であると言われてます。我が会派も艱難辛苦を乗り越えて、市民に寄り添う議会運営を行います。

- 当選3回
- 所属/文教福祉常任委員会委員長
- 連絡先/〒963-0201
大槻町字殿町35番地
TEL.024-952-4258



佐藤 徹哉
さとう てつや

「翔」の字には「願いを叶えるために奔走しかけめぐる」という意味があるそうです。会派名に恥じぬよう志高く、初心忘れず議員活動に取り組みます。

- 当選2回
- 志翔会事務局長
- 所属/環境経済常任委員会副委員長
議会運営委員会
- 連絡先/〒963-8862
菜根一丁目11番11号
TEL.024-934-2585



佐藤 栄作
さとう えいさく

志翔会として新たなスタートを切りましたが今後も郡山市民の為、市政発展の為に初心忘れる事なく新産業を創出、経済基盤の確立に向け邁進します。

- 当選1回
- 志翔会政務活動費担当
- 所属/建設水道常任委員会
- 連絡先/〒963-8041
富田町字山玉林19番地の2
TEL.024-932-2780



高橋 隆夫
たかはし たかお

人口減少が進み、日本のGDPも下り、併せて郡山市の生産・消費も下がって来ると考えられる。今からAI等を駆使し革新的な施策を考えるべきである。

- 当選6回
- 志翔会顧問
- 所属/総務財政常任委員会
- 連絡先/〒963-8071
富久山町久保田字久保田4番地
TEL.024-933-8311



七海喜久雄
ななうみ きくお

「梅華新発」という言葉がありますが、歴史と伝統ある会派に新たに息吹を吹き込んで市民ニーズに応えられる活動を目指して参りたく、ご支援をお願い致します。

- 当選4回
- 郡山市監査委員
- 所属/文教福祉常任委員会副委員長
議会運営委員会
- 連絡先/〒963-0837
中田町駒板字南115番地
TEL.024-973-3338



久野 三男
ひさのみつお

議員として10年を迎え責任と役割をしっかりと果たしていく。子どもの健全な成長のため、市民の豊かな文化発展の為、安心のできる楽しい社会実現のために。

- 当選3回
- 志翔会政務調査会長
- 所属/環境経済常任委員会
議会運営委員会副委員長
- 連絡先/〒963-8811
方八町一丁目3番11号
TEL.024-943-3200



塩田 義智
しおた よしと

「革新から確信へ」志翔会の下で引き続き、市政への発言力を着実に図ると共に、議会と行政の調整役として、市民公平性を重要視して参ります。

- 当選3回
- 志翔会副会長
- 所属/建設水道常任委員会委員長
- 連絡先/〒963-0121
三穂田町川田字小樋41番地
TEL.024-945-2015



大木 進
おおき すずむ

旧・創風会で培われた歴史と伝統を新・志翔会の下に反映し市政の発展と市民の安住を第一にとらえ、更なる飛躍を目指してその責務を果たして参ります。

- 当選1回
- 所属/文教福祉常任委員会
議会運営委員会
- 連絡先/〒963-0551
喜久田町字赤沼向4番地の133
TEL.024-951-7290



森合 秀行
もりあい ひでゆき

特定の既得権益・勢力が利する事なく、郡山市全体にとって必要な施策かどうかしっかりと見極め、市民ファーストの責任会派を目指して参ります。

- 当選1回
- 志翔会広報担当
- 所属/環境経済常任委員会
- 連絡先/〒963-0111
安積町荒井字北巴六段13番地の11号
TEL.024-953-7885



大内 嘉明
おおうち よしあき

会派の改名を新たな出発点として地域の様々な課題解決に向け地域社会の振興と市民福祉向上のため、全力で市民の皆様の負託に応えて参ります。

- 当選5回
- 志翔会顧問
- 所属/環境経済常任委員会
- 連絡先/〒963-0546
喜久田町早稲原字弥五郎15
TEL.024-959-2319



大城 宏之
おおしろ ひろゆき

「お答えします。あなたの声にまっすぐに！」皆様と市政を繋ぐ代弁者として、「熱意」をもって議員活動に励みます。

- 当選4回
- 所属/総務財政常任委員会
- 連絡先/〒963-0105
安積町長久保一丁目16番地の1
TEL.024-945-6566



近内 利男
こんない としお

「継続は力なり」議員になって10年間、問い続けてきた自殺対策が、今議会で「自殺対策基本条例」として完結しました。会派名変われど初心変わらず。

- 当選3回
- 志翔会副会長
- 所属/総務財政常任委員会委員長
- 連絡先/〒963-0702
緑ヶ丘東二丁目4番地の8
TEL.024-942-7967



川前 光徳
かわまえ みつのり

このスタートを契機に、更に情報発信力と政策立案能力を高め、10年後、20年後の郡山市の姿を描きつつ、郡山市の発展のために滅私奉公いたします。

- 当選2回
- 志翔会幹事長
- 所属/総務財政常任委員会副委員長
議会運営委員会
議会だより編集委員長
- 連絡先/〒963-8877
堂前町12番6号
TEL.024-922-5265



山口 信雄
やまぐち のぶお

新たな旗印「志翔会」の下、これまで以上の緊張感を持ちこの2年間で身につけた経験を生かして、多面的に様々な市政の課題に取り組んで参ります。

- 当選1回
- 志翔会会計担当
- 所属/環境経済常任委員会
- 連絡先/〒963-0111
安積町荒井字南千保1番地
TEL.024-945-2183



馬場 大造
ばば だいぞう

4月の補欠選挙で市議となりました。積小為大、できることからしっかりと取り組み市民の皆さまの安心生活のために働いて参ります。

- 当選1回
- 所属/建設水道常任委員会
- 連絡先/963-1151
田村町金沢字大久保64番地
TEL.024-953-5976

郡山市議会議員の 虚礼廃止

選挙によって選出される議員等の職にあるものが、暑中見舞状などの時候のあいさつ状（電報も含む）を出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は公職選挙法により禁止されています。

市民の皆様には、この趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

暑中見舞状のあいさつ状の禁止

政治家は、暑中見舞状等のあいさつ状を出すことが禁じられています。

政治家は、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状（電報なども含まれる）を出すことは禁止されます。

編集後記

4月16日に実施された郡山市長選挙の投票率は、38.05%と過去の選挙に例のない史上最低の投票率となりました。再選した品川市長に対して有権者の4人に1人しか投票していない事実は、市政にとって危機的かつ深刻な結果であると思います。今後、市政に関する情報をできる限りわかりやすく伝え、多くの市民の皆さまに市政に関心をもっていただけるような紙面作りを目指して参りたいと思います。
(森合 秀行)